

第2回番組審議会議事内容要旨

①アンケート結果について

- ・アンケートでは視聴者はテレビで行政情報の発信を望んでいるが、広報紙はどのような姿勢で情報を掲載しているのか。
 - 広報紙では街の話題の発信から行政情報の発信へと移行しているところ。 (秘書広報課)
- ・取材というのは、地域的にバランス良く行うことが基本であると思うが、旬なものを、過去のものよりこれからの話題(未来に向けて)を番組にしてほしい。
- ・秘書広報課とCCNとの連携は。
 - 週に1回、情報を交換しています。(秘書広報課)
- ・地域に広報モニターのような方をお願いし、地域の情報を収集してみたい。(旧金山町時代では行っていた)
- ・文字放送について、テレビには音声があるため、音声がつかると視覚障がい者の方に内容がわかるので音声をつけて欲しい。
- ・ホテル等の話題で、食材を紹介する時に、「これは飛騨牛の〇〇ランクのものを使っている」といったように地元産の食材をPRして欲しい。下呂市の特色を出した番組を放送してもらいたい。
- ・アンケート結果は、「まめなかな」、「下呂へGO」、「岐阜県情報」以外の番組はほとんど見ていないという結果である。番組内容の変更を考えては。
 - 落語やコンサート、カラオケなどのイベントを最初から最後まで取材して流すのはどうか。(まめなかなの特番扱いといった形で)

→おもしろい番組内容とは思いますが、著作権等の発生により難しいかもしれませぬ。(CCN)

・テレビ愛知について

→各放送局同士の利害関係があり、地上デジタルの再送信同意を得ることが非常に難しいため、放送できないのが現状です。(情報課)

②平成22年度「チャンネル下呂」番組内容について

・CCNより22年度の番組内容について説明。

→質疑、要望などは特になかった。

③下呂ネットサービス全域開局イベントについて

・CCNよりイベント案の説明。6月～7月開催予定。

・カラオケ発表会では下呂ネットサービスに結び付かないと感じる。

・カラオケもアナウンサー体験ももう少し幅を持たせては。

市内にはカラオケ同好会のような団体以外に活動してみえるグループもたくさんいると思うし、アナウンサー体験も小学生となっているため、小学生と中学生としてはどうか。

・別の考えとして、既存のイベントにひっかけてみてはどうか。例えば5月に鳳凰座歌舞伎があり、それをドキュメンタリータッチで練習風景から取材するとか。

・このイベントは下呂ネットサービスを市民に向けアピールすることが大切であると思う。どこかの会場で式典等を行うときに、そこに「まめなかなづ

ース」、「下呂へGOブース」といったように、下呂ネットサービスを全面に出す必要があると感じる。

→開局イベント案は内容を再度検討することとした。

④その他

- ・今年度末で審議会委員の任期(2年)となることから、次期(22、23年度)も引き続きお願いしたいと伝え、後日1人1人をお願いに伺うこととした。(事務局より)
- ・まず行政は情報を発信してもらいたい。現在、ケーブルテレビは指定管理者制度によって運営されているが、市も指定管理者に全てを丸投げではなく、市のポリシー(情報課、秘書広報課ごとに)を持ち情報を積極的に発信して欲しい。